

(参 考)

請 願 文 書 表

請願第 1 号

青森市スポーツ施設への人工芝設置に関する請願(採択)

(請願の趣旨)

青森市においては、これまでもスポーツ振興のための環境整備が進められ、現在、子どもからシニア世代、さらには女子まで数多くの人々がスポーツを楽しむようになったことから、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフなどのスポーツ人口及びチーム数はふえ続けている。

しかし、そのための屋外グラウンドは慢性的に不足しており、市民の大会や行事に支障が出ている状況である。

青森市においては、浪打の青森市スポーツ会館と横内の青森市スポーツ広場に天然芝のグラウンドが設置されているが、需要に比して全く数が足りていない状況である。

また、天然芝のグラウンドは、雪の影響と養生期間を含めると6カ月間も使用できないほか、雨天時には使用することができず、それ以外のときでも使用時間が制限されている状況である。

一方、人工芝は天然芝に比べて維持費が少なく、管理が容易であり、天候によらず毎日使用することが可能である。

人工芝のグラウンドがあれば、使用頻度を気にせず、子どもから年配の人までが多種多様なスポーツを楽しむことが可能となり、本市のスポーツ施設は、市民が集い健全な体づくりができる場としてより一層機能することになる。

さらには、市外、県外からのチームを招いて大会を行うことができることから、青森市の活性化にもつながるものとする。

人工芝グラウンドについては、既に、弘前市、十和田市、五戸町などで導入され、連日高い利用率を誇り、東北大会開催にもつながるなど、好評を得ている。

さらに、これらの市、町に加えて八戸市でも建設が決まっていること、三沢市や七戸町でも設置の計画が進んでいることは、人工芝グラウンドの有用性を顕著に示す状況といえる。

よって、下記の請願事項の実施を強く求める。

なお、請願者が所属するサッカー、ラグビー、グラウンドゴルフの3協会は、「人工芝設置一万人署名市民の会」を結成して署名活動を行い、既に1万人を超える署名を去る3月27日鹿内博青森市長に提出したことを申し添える。

(請願事項)

青森市のスポーツ文化のさらなる発展のため、青森市スポーツ施設の芝グラウンドに人工芝を設置すること

平成 27 年 5 月 28 日

請 願 者 「人工芝設置一万人署名市民の会」呼びかけ人
青森市幸畑一丁目 21-22
青森市サッカー協会
会長 里村 英博 外 2 人

紹介議員 渋谷 勲
奥谷 進
藤原 浩平
赤木 長義
斎藤 憲雄
橋本 尚美

請願第2号

青い森鉄道浅虫温泉駅へのエレベーター等に関する請願（その1）（採択）

（請願の趣旨）

青森市の観光地として有名な浅虫温泉に宿泊する年間約 17 万人の方が、交通手段として青い森鉄道等を利用する関係で、青い森鉄道浅虫温泉駅に訪れている。

近年、連泊が多くなったことから、高齢の方が多くなった観光客は、たくさんの荷物を持参している状況にある。

また、時代の流れとして、交通の起点となる駅などの施設は全ての人に優しいユニバーサルデザインとし、バリアフリー化を進めることが求められている。

しかし、青い森鉄道浅虫温泉駅には、エレベーターやエスカレーターがないため、同駅の案内所には、駅を利用する観光客から多くの苦情が寄せられている状況にある。

また、浅虫地域の住民のうち、65 歳以上の高齢者は 46%以上を占め、青森市の高齢化率約 26%と比較しても高齢化が顕著である。

高齢化社会を鑑み、浅虫温泉を訪れる観光客の安全と利便性向上に寄与することに加え、地域住民のみならず青森市民へのサービス向上のために一刻も早く、青い森鉄道浅虫温泉駅にエレベーターやエスカレーターの設置を要望する。

（請願事項）

市は、青い森鉄道浅虫温泉駅へのエレベーターやエスカレーターの設置を、国、県及び青い森鉄道株式会社に強く働きかけ、早期実現に向け取り組むこと。

平成 27 年 5 月 29 日

請 願 者 青森市大字浅虫字蛸谷 341—19
浅虫温泉地域活性化協議会
会長 蝦名 幸一
紹介議員 渋谷 勲
奥谷 進
木下 靖
斎藤 憲雄
赤木 長義

請願第3号

青い森鉄道浅虫温泉駅へのエレベーター等に関する請願（その2）（採択）

(請願の趣旨)

青森市の観光地として有名な浅虫温泉に宿泊する年間約 17 万人の方が、交通手段として青い森鉄道等を利用する関係で、青い森鉄道浅虫温泉駅に訪れている。

近年、連泊が多くなったことから、高齢の方が多くなった観光客は、たくさんの荷物を持参している状況にある。

また、時代の流れとして、交通の起点となる駅などの施設は全ての人に優しいユニバーサルデザインとし、バリアフリー化を進めることが求められている。

しかし、青い森鉄道浅虫温泉駅には、エレベーターやエスカレーターがないため、同駅の案内所には、駅を利用する観光客から多くの苦情が寄せられている状況にある。

また、浅虫地域の住民のうち、65 歳以上の高齢者は 46%以上を占め、青森市の高齢化率約 26%と比較しても高齢化が顕著である。

高齢化社会を鑑み、浅虫温泉を訪れる観光客の安全と利便性向上に寄与することに加え、地域住民のみならず青森市民へのサービス向上のために一刻も早く、青い森鉄道浅虫温泉駅にエレベーターやエスカレーターの設置を要望する。

(請願事項)

市は、青い森鉄道浅虫温泉駅へのエレベーターやエスカレーターの設置のため、目的税である浅虫温泉の入湯税を活用し、その設置に係る財源の一部を負担すること。

平成 27 年 5 月 29 日

請 願 者 青森市大字浅虫字蛸谷 341—19
浅虫温泉地域活性化協議会
会長 蝦名 幸一
紹 介 議 員 渋谷 勲
奥谷 進
木下 靖
斎藤 憲雄
赤木 長義
